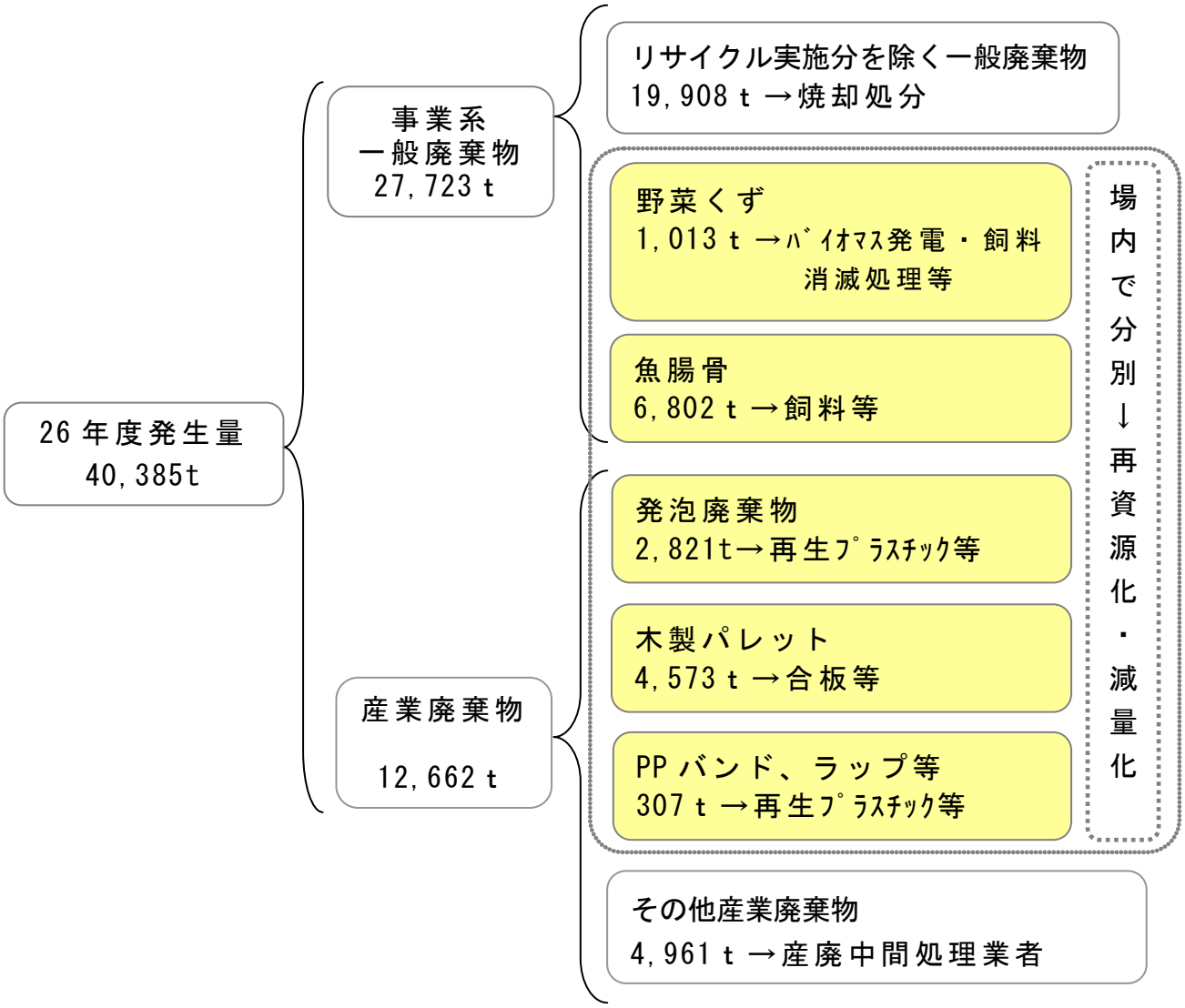
東京都中央卸売市場　廃棄物処理及びリサイクルの現状と課題



〇一般廃棄物は 27,723 トンであり、このうち清掃工場で焼却処分されるごみは全体の約 72%、19,908 トンです。野菜くずは 1,013 トン、魚腸骨は 6,802 トンが再資源化されています。段ボール(集計外)はほぼ全てが再資源化されています。

〇産業廃棄物は 12,662 トンであり、発泡廃棄物 2,821 トン、木製パレット 4,573 トン、場内で分別された PP バンドやラップ等 307 トンが再資源化業者に持ち込まれています。これらを除く 4,961 トンは産業廃棄物中間処理業者へ持ち込まれ、分別のうえ再資源化されたり、サーマルリサイクル(熱回収)されたりしています。

〇市場で発生した 40,385 トンの廃棄物のうち、場内で分別し再資源化業者に持ち込まれているものは、野菜くず、魚腸骨、木製パレット、発泡廃棄物、PP バンド等の 14,604 トン(全体の約 36%)です。今後、ごみの発生量を抑制するとともに、リサイクルの一層の推進を図ることが課題となっています。